

東京都立練馬高等学校同窓会（銀杏会）
再建臨時総会

議 案 書

平成 29 年 12 月 2 日（土）

於：東京都立練馬高等学校 会議室

14：00～

同窓会再建準備委員会

次 第

司会および議長の選任

- | | | |
|----|------------|------------|
| 1 | 学校長挨拶 | 丸茂 聡 |
| 2 | 学校から | 仲田 賀一（副校長） |
| 3 | 前会長挨拶 | 伊藤 久雄（11） |
| 4 | 経過説明 | 須藤 勝（3） |
| 5 | 活動方針案 | 須藤 勝 |
| 6 | 会長、理事等の承認 | 小澤 直彦（9） |
| 7 | 会計監査（案）の承認 | 小澤 直彦 |
| 8 | 規約改正（案） | 須藤 勝 |
| 9 | 決算中間報告 | 井上 和夫（3） |
| 10 | 予算案 | 井上 和夫 |
| 11 | ホームページ担当から | 宮鍋 和美（28） |
| 12 | 名簿管理について | 須藤 勝 |
| 13 | 事務連絡 | 小澤 直彦 |

※（ ）内の数字は卒業期

1) 活動方針（案）

1. 同窓会再建の趣旨

東京都立練馬高等学校は、創立から半世紀を超える伝統校になってきました。昭和から平成へと、歴代校長先生をはじめとして多くの教職員のご努力と、各期の生徒の皆様の頑張りによって、また、各期のPTAをはじめ多くの保護者の皆様や地域の方々によるご理解、ご支援により営々と伝統を築いてきた学校です。来年には元号も変わるようです。

母校の校章にちなんだ「银杏会」の名称で愛され続けてきた本同窓会も、学校の発展と共に活動を続けてきましたが、会の諸般の事情と、伊藤前会長をはじめ役員の方々の積年の蓄積疲労やご家庭の事情などもあり、2007年（平成19年9月22日の前会長の「银杏会活動休止のお知らせ」という宣言以来、10年あまりの長きにわたり、休眠状態になっておりました。

その間も卒業生が10回も出ております。また、各期の卒業生が独自にクラス会や同期会などを行い、旧交を温めてきたと伺っております。そういう方々のよりどころとなる同窓会の存在が必要ではないかと痛感しました。

また、在校生の方々にも、伝統のある银杏会の復活は、卒業後のよりどころとなり、勇気と誇りを持って頂けるのではないかと思います。

現在、1期生の方は69歳になられます。年代の壁を取り払い、交流できることは卒業生にとって相互に有益であり、喜ばしいことと思われるのです。本校がこの地に校舎が建ったのは、3期生の入学と同時でした。その意味では、1～3期の卒業生は伝説の語り部です。後輩に語り継ぐ使命もあると思います。

2. 2017（平成29）年度の活動方針

2017年度は、残り少なくなってきました。当面は、総会を開催し、银杏会の再立ち上げをすることだと思っております。2017（平成29）年12月2日（土）に総会を開催します。有意義な総会となる様、ご協力をお願い致します。

総会後は、来年3月卒業の在校生に趣旨を説明し、入会のお誘いを致します。また、各クラス男女1名ずつのクラス幹事を決めて頂きます。

さらに、乏しい財政ではございますが、卒業式には银杏会から卒業生一人ひとりに入会の可否を問わず記念品を贈呈する予定です。银杏会としても卒業を祝いたいと思います。

3. 2018（平成20）年度の活動方針

準備委員会での議論の結果、できるだけ支出を押さえながら、大きな効果を

発揮できる方法を考えていきます。

当面は、ホームページを充実させ、学校などの情報の提供や各期・各クラスの同期会やクラス会の情報などを載せることにします。

また、银杏会の機関紙「银杏の朋」については、紙ベースでの郵送ではなく、ホームページにPDFファイルの形式で配布する形とします。なお、ホームページが開けない方には、ご希望があれば有償でプリントアウトをしたものをお送りしたいと考えております。内容はできる限り充実させたいと考えております。

さらに、学校側の許可が得られれば、文化祭の時に银杏会のブースをいただき、同窓生の交流の場としたいとも考えております。これは今後、学校と詰める必要があります。

その他の文化的事業も考えておりますが、とりあえずは軌道に乗せる必要があります。皆さん方のお知恵もお借りしたいと思っております。よろしくお願い致します。

なお、名簿管理は個人情報を守るため厳重に致しますが、クラス会など必要などときには、ホームページへのメールでお問い合わせ下さい。当面は名簿の発行は控えます。

2) 会則改正 (案)

別紙資料1及び資料2参照 (現会則及び会則改定案)
総会において、詳細を説明します。

3) 会長及び理事についての提案

会 長 須藤 勝 (3期) 名簿管理担当兼務
副会長 小澤 直彦 (9期)
理 事 井上 和夫 (3期) 会計担当
黒澤 敏明 (10期) 会計担当
宮鍋 和美 (28期) HP 担当、名簿管理担当
山下 幸雄 (3期) HP 担当
小嶺 究 (4期)
三浦 喜雄 (9期)
顧 問 伊藤 久雄 (11期)
会計監査 山下 幸雄

(なお、規約により名誉会長に学校長、名誉副会長に副校長が入ります。)

4) 会計報告 (案)

10年間支出がないため、11月30日現在の収支を中間報告致します。

日付	入金	支出	残高	備考(内訳他)
2017/11/12	2,361,176		2,361,176	前会計からの引き継ぎ
2017/11/15		522,835	1,838,341	ハガキ印刷 65,916 円 振り込み手数料 432 円 宛名シール、インク代、 18,767 円 返信切手 437,720 円
2017/11/19		412,114	1,426,227	郵便料(62円×7050通) 437,100、から バーコード割引(-3%)、 区分割引(-3%)で 410,874円の支出 郵便料(62円×7050通) 437,100円から バーコード割引(-3%) -13,113円 区分割引(-3%) -13,113円で 差し引き 410,874円を 支出 追加分郵便切手 62×20→1,240円 合計 412,114円

(単位・円)

追加で、連絡はがきを出したり、諸雑費があつたりでもう少し支出があると思われまふ。

なお、この10年間は支出がなかつたので、会計監査は行つておりません。休止直前の総会で、会計監査が済んでおります。

また、2017(平成29)年度の会計は、まだ閉めておりませんので、会計監査は来年度に行います。

今後の予算案

来年の 3 月までの追加予算として、卒業式における卒業生への記念品贈呈について、生徒一人あたり 1,000 円程度のものを予定しているため、概算として以下の金額を支出に計上します。

280 人 × 1000 円 → 280,000 円

なお、2018（平成 30）年度の予算は、新規入会者の会費収入と共に決算と一緒に来年度の総会で報告します。